

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	きぎょうくみあい げきだんなかま 企業組合 劇団仲間		
代表者職・氏名	代表理事 田中誠		
制作団体所在地	〒164-0012 東京都中野区本町4-26-5 Sビル202		
電話番号	03-4405-2453	FAX番号	050-5433-1183
ふりがな 公演団体名	げきだんなかま 劇団仲間		
代表者職・氏名	代表理事 田中誠		
公演団体所在地	〒164-0012 東京都中野区本町4-26-5 Sビル202		
制作団体 設立年月	1953年 4月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 田中誠 専務理事 二瓶美江 理事 村井裕 飛田晃治 三橋怜子 監査 池田舞 大和田遥奈 劇団仲間 運営委員会7名		▽演技部劇団員 32名▽演出部劇団員 1名 ▽制作部劇団員 2名▽事務局員 1名 準劇団員は1年制以上の俳優養成機関の修了者を準劇団員として採用。演出部は1年間の研修期間を経て劇団員として採用。
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	田中誠
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	三橋怜子

<p>制作団体沿革</p>	<p>昭和28年4月。俳優座養成所(2期生)卒業生が講師の中村俊一を中心にして劇団仲間を結成。昭和44年に企業組合として法人化。新劇公演、児童青少年演劇公演を全国に展開し今日に至る。 平成6年度(第49回)芸術祭賞を「モモと時間どろぼう」で受賞。 平成13年度東京都優秀児童演劇選定優秀賞、平成17年度児童福祉文化賞推薦作品を「カモメに飛ぶことを教えた猫」公演で受賞。 平成19年度厚生省中央児童福祉審議会児童福祉文化財を「飛ぶ教室」で受賞。 平成22年度児童福祉文化賞推薦作品を「森は生きている」公演で受賞。 平成26年度厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財認定「空の村号」</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>平成28年8月 「小さい“つ”が消えた日」夏休み児童・青少年演劇フェスティバル参加 平成29年5月 「小さい“つ”が消えた日」葛飾区立梅田小学校、千代田区立富士見小学校、練馬区立石神井西小学校、墨田区立隅田小学校、川崎市立大谷戸小学校 平成29年6月 所沢市立上新井小学校、桐朋学園小学校、横浜市立中沢小学校 墨田区立外手小学校、墨田区立第三寺島小学校 他年度内「小さい“つ”が消えた日」小学校体育館公演35回 平成30年5月 「小さい“つ”が消えた日」墨田区立東吾嬬小学校 「給食番長」昭島市立拝島第二小学校 平成30年6月 「小さい“つ”が消えた日」小平第四小学校 他年度内「小さい“つ”が消えた日」小学校体育館公演13回 「給食番長」小学校体育館公演18回 令和元年「小さい“つ”が消えた日」文化芸術による子供育成総合事業15回 他年度内「小さい“つ”が消えた日」小学校体育館公演5回 「給食番長」小学校体育館公演21回 令和2年「小さい“つ”が消えた日」文化芸術による子供育成総合事業16回 「給食番長」小学校体育館公演8回</p>		
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>長崎県立虹の原特別支援学校(平成23年11月・平成25年10月) この公演は担当先生との打ち合わせで通常通りの公演を行いました。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p>DVDの他下記のURL有り</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>https://www.kodomogeijutsu.go.jp/video/theater/i101.html</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団仲間】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	舞台劇 小さい“つ”が消えた日			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>「小さい“つ”が消えた日」 原作：ステファノ・フォン・ロー（三修社刊） 脚本／演出 鈴木雄太 音楽：芳賀一之 振り付け：川又真理子</p> <p style="text-align: right;">公演時間(75分)</p>			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	<p>～いらぬ子なんていない！みんなそろって五十音！～</p> <p>ひらがなたちが集まって暮らす五十音村では自慢話で盛り上がっていました。そんな中、小さい“つ”は音にならない文字なんて必要ないからかわれ、五十音村を飛び出してしまいます。</p> <p>すると人間の世界ではおかしいことが起こりました。弁護士が「訴えますか？訴えませんか？」と言おうとすると、「歌えますか？歌えませんか？」となってしまう依頼人は怒り出します。横綱も「はげよい、のこた」では力が入らずに負けてしまい日本語は大混乱！はたして小さい“つ”は五十音村に戻ってくるのでしょうか？</p>			
演目選択理由	<p>観劇後、自己肯定感について考える時間が増えることを願って、この作品に取り組んでまいりました。そして“思いを伝える”ということがどれほど大切なことか、誰かとコミュニケーションをとる事のできる喜びはどんなものか、舞台だからこそできる表現で発信できるよう努めてまいりました。</p> <p>これらの取り組みが、この事業に必要な要素ではないかと考え、「小さい“つ”が消えた日」を選択いたしました。</p> <p>舞台劇が楽しいものだと感じられるように、歌や踊りなどエンターテインメントの要素を意識した作品作りを心がけています。</p> <p>小さい“つ”は音で表すことは出来ませんが、文字と文字とを「つなぐ」役割を持っています。</p> <p>小さい“つ”のいなくなった人間世界をユーモアに表現しながら、人にはそれぞれ役割があり、個性や存在意義があるということに気づきます。そしてお互いを尊重し合うことで社会が成り立っていることが見えてきます。</p> <p>また、五十音村のメンバーが“つ”に戻ってきてもらうためにどんな行動をしたかを観ることで、お互いを認め合うことの大切さを子どもたちに感じてもらいたいと願っています。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>学校とは密な連絡を取り、より良い児童・生徒の共演、参加の形態がとれるよう努めます。ワークショップ参加の子ども達は文字のキャラクターとなって舞台に参加します。</p> <p>公演後バックステージツアーを行い、実際に舞台の上にも立ちながら演技する側の気分を味わってもらいつつ児童・生徒との交流をします。</p> <p>舞台参加については照明や音響も交えて舞台稽古を行い、本番中の安全を確認します。</p> <p>公演終了後はキャストが退場口に行き、子ども達との交流をはかります。</p>			
出演者	飛田晃治、鎌田陸大、小倉輝一、田中誠、二瓶美江、浜谷真理子、池田舞大和田遥奈、堀越ふみの			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 9 名	機材等 運搬方法	積載量: 4 t	
	スタッフ: 7 名		車長: 9 m	
	合計: 16 名		台数: 1 台	

【公演団体名 劇団仲間 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	有	会場設営の所要時間			4 時間程度
	到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～12時半	13時30～14時45	0分	14時45～16時45	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		100名(1学年程度)			
	本公演		500名			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>1, 準備運動として簡単なゲームをします。 例)アイコンタクトを用いたゲーム (輪になって決められたお題を目を見て隣に伝えていきます。慣れてきたら同時に2方向に回します) 相手との信頼関係を育むゲーム (2人組になり手のひらを触れない程度に合わせて片方の人が相手を誘導し、誘導される側は、相手に動きを委ねます。誘導する側はまわりとぶつからないようにします。慣れてきたら手と顔で同じことをします) チームプレイが大切なゲーム (2人組になり向かい合って縦方向と横方向で手をぶつけないように手拍子を打ちます。さらに参加者全員で音が重なるように、耳元に集中し、思いを一つにします) 想像することを楽しむゲーム (与えられたお題を瞬間的に判断して体を動かします)etc 2, 劇中の参加シーンの練習をします。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>1, ゲームを通じて遊ぶことで声を出すことやコミュニケーションをとることの大切さを感じてもらいます。目を見て思いを相手に伝え、受け止めることで協調性を養います。 ゲームをしながら身体を動かすことで想像力を刺激し、また、心身の解放を目指します。 以上のゲームは劇作りにも大切なことだと感じてもらいます。 参加シーンの練習では1, のゲームを踏まえ、文字のキャラクターになってもらいます。そのときには文字の性格を考えたり、小さい“つ”がないと言葉がどうなるのかを子ども達の自由な発想と自主性を尊重しながら一緒に考えてシーンを創ります。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	<p>学校と綿密な連絡を取り、通常通りの公演をいたします。 必要であれば台本を提供し、PC等を使い舞台上の進行を迫るようにします。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

小さいが消えたい

原作 ステファノフォン・ロー（三修社刊）
脚本・演出 鈴木雄大

上演時間：1時間15分

仕込：4時間30分 / バラシ：1時間45分

編成：15名（キャスト：10名 / スタッフ：5名）
体育館可



ことばにもいのちがあるんだなとおもったよ。（一年生）



普段考えたことのなかった「文字の心」を感じる事ができ、また、小さい「つ」のぼうげんから居場所がないものなどないことも知ることができました。これからは、今まで以上に周りのものを大切にしたいと思います。（六年生）

言葉は文字が集まったものだと分かったり、大事に使いたいと思いました。（四年生）

小さい「つ」がなくなるだけで、人々は言葉の「力強さ」をなくしてしまうんですね。小さい「つ」は昔がないので必要がないと思ってしまうけれど、本当はとも大切な文字の中の一つだったんですね。（五年生）

人間は1人でもいなくなれば親や友達、たくさんの人たちが悲しみます。でも、いなくなれば笑顔がたくさん生まれます。そんなことを考えさせられました。（六年生）



自分が本当に必要なのかなと、自分のことを考えていた時を思い出しました。しかし、やっぱり私には私だけの居場所があり、必要無いわけがないと再確認でき、とても印象に残りました。（高校生）



とても感動しました。笑いの中にもとても大事なメッセージが込められていて、子どもと一緒に観ることができてとても良かったです。（大人）



上演時期、詳細、御下見のお問い合わせは **劇団仲間** まで

小ざいつが消えた日

スタジアム

原作 ステファン・フォン・ロー

(三修社刊)

脚本・演出 鈴木健太

美術 角浜有香

音楽 芳賀一之

振付 川又真理子

衣裳 小泉美都

効果 金子幸世

照明 田中祐太

舞台監督 鈴木志門

演出助手 木内 希

制作 飛田晃治

田中 誠

『小ざいつ』が消えた日』はひとつの小ざいな文字がなくなっただけで、大混乱する社会をユーモアあふれる視点で描いています。

五十音を羅人化して物語を進めていくことで、いつもはなにげなく使っている日本語と文字の大切さ、すばらしさを改めて感じていただけた作品です。

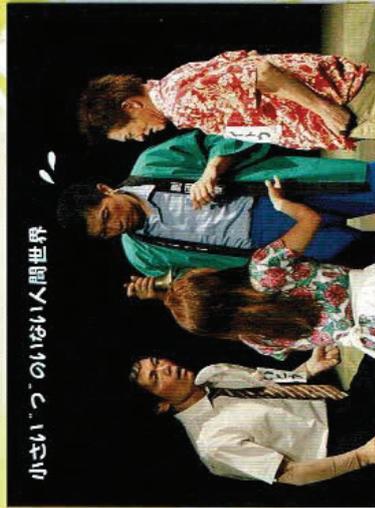
人間にはそれぞれ個性があり、存在意義があるということ。そしてお互いを尊重しあうことで社会が成り立っているということを“文字の世界”から浮かび上がらせることで、相手のことを思いやり、よりよく理解するために何が必要なのかを子どもたちにも感じてもらえると思います。

いや、日本語のピン子！
五十音村最大のピン子！

文字では表せない大自然



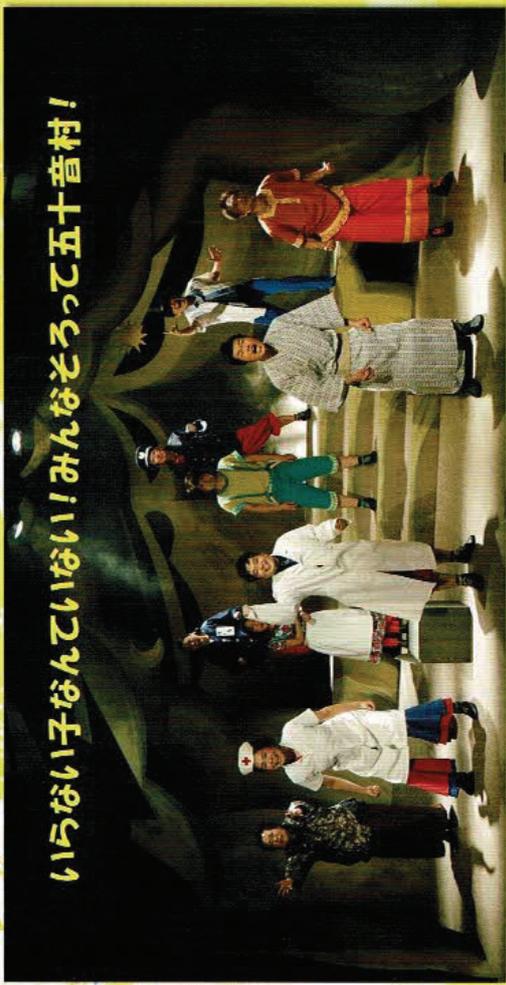
小ざいつのいない人間世界



使われな
い文字は
消えてゆく...



いらない子なんていない！みんなぞろぞろって五十音村！



村を飛び出す小ざいつ



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I116	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	劇団仲間				制作団体名	企業組合 劇団仲間			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	1室	条件	体育館に近い場所が望ましい				可	
搬入について	来校する車両の大きさや台数 *			4トラック	1台	中型バス	1台	可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			4トラック不可の場合2トラック2台で対応します				/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			長さ9m 幅2.5m				可	
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				可	
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				可	
	理由			濡れたくない機材がある。				/	
	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				可	
	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m		可	
WSについて	参加可能人数		100名程度				可		
	学年の指定の有無 *	あり	指定学年 *	中学年	高学年		可		
	所要時間の目安 単位:分	90分程度(参加人数多数の場合時間延長もあり)				可			
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数			500名程度				可	
	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				不可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	14.5m	奥行	7.2m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態				可
		緞帳 *		不要		バトン *	要		可
	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	場面転換でできるだけ暗転を希望			可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			可	
		ピアノの事前調律 *		不要				—	
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量			100A	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談	
ピアノは使用しませんが、舞台設置に支障がある場合、移動します。							—		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

